

中部読賣新聞社
名古屋市中区栄3-1-4
電話 53-460
電報掛 05221-1201

1日

初松 頼 壽 ぐ

松や波も風、雨はて心のしほりす。

3月30日一。

三和銀行

体外受精赤ちゃん

東海地方で初の成功

名古屋の 今春、出産予定 開業医で

東海地方で初めての体外受精による妊娠が成功した。名古屋市の産婦人科医で成功したもので、母親は結婚して二年間の子に恵まれなかった。東海地方の二十七日の朝刊「中日新聞」に、産婦人科の体外受精の成功を告げる記事が掲載された。出陣式も開かれ、わが国の体外受精の歴史は五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。



可賀木 辰夫 院長

体外受精が成功させたのは、名古屋市中区栄の可賀木産婦人科病院。同院主人可賀木辰夫院長だ。

人工的な体外受精を成功させたのは、可賀木院長だ。体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

可賀木院長は、体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。

体外受精の歴史は、五十八年に遡る。名古屋市民病院産科の二日、誕生しては、二十人の子供をもうけた。この成功で、産婦人科の歴史は、新しい時代に入った。